

## 小松島市都市計画マスタープラン（素案）に関する パブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間 平成25年10月7日（月）～10月28日（月）
- 2 意見提出者数 37名
- 3 意見提出件数 86件
- 4 意見の概要と市の考え方 別紙のとおり

### 意見の概要

意見項目		意見件数	概要件数
①	市街化区域と市街化調整区域との区分 （いわゆる線引き）	31件	1件
②	将来都市構造	13件	4件
③	土地利用の方針	5件	3件
④	都市施設整備の方針	16件	7件
⑤	都市防災の方針	2件	2件
⑥	地域別構想	9件	5件
⑦	計画推進に向けて、その他	10件	4件
合計		86件	26件

※意見の概要については、同じ主旨の意見を集約し、まとめています。

## 意見の概要と市の考え方

### 【意見項目①】市街化区域と市街化調整区域との区分（いわゆる線引き）

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【線引きの廃止について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線引きを廃止し、市街化区域内農地の宅地並み課税を廃止してほしい。</li> <li>・津波災害に対して安全な国道 55 号の西側に家が建てられるよう、線引きを廃止してほしい。</li> <li>・線引きを廃止した他県の事例を参考にしてほしい。</li> </ul>	<p>都市計画法の規定により、「市街化区域と市街化調整区域との区分（区域区分）」については、都道府県が「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」において、区域区分の有無を定めるものとなっております。</p>

### 【意見項目②】将来都市構造

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【交通について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンパクトシティを自転車で移動できる距離に広げて考えるべきである。</li> <li>・高齢化社会を迎え、JR やバスなど公共交通を中心に、市民の交通手段を確保することが重要である。</li> <li>・本市は郊外に多くの集落があり、車で都市間を移動できるよう、市街地の駐車場対策を考えるべきである。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、将来都市構造の基本的な視点において、交通に関する記述を修正しております。 (対応箇所：概要版 p 5～6、本編 p 32～33)</p>
<p>【人口減少について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の人口減少を少しでも抑えるという考え方が見えない。定住促進に向けたまちづくりを示すべきである。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、将来都市構造の基本的な視点において、中心市街地活性化やコンパクトシティの形成に向けた施策・取組等に関する記述を追加しております。 (対応箇所：概要版 p 5～6、本編 p 32～33)</p>
<p>【高台の土地利用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさい広場周辺は高台であることから、津波避難施設の建設が可能となる土地利用を考えるべきである。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、将来都市構造において、防災レクリエーション拠点の記述を修正しております。 (対応箇所：概要版 p 10、本編 p 37)</p>

意見の概要	市の考え方・対応
<p><b>【将来都市構造全般について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市中心拠点や地域拠点は津波災害の危険な地域であり、「地震・津波などの大規模災害に対応するための災害に強い都市構造」に反する計画となっている。</li> <li>・山側にニュータウンの建設を計画して、市街地と連携したまちづくりを進めるべきである。</li> <li>・災害に強い都市構造は良いと思うが、災害が起きれば避難施設に逃げるというシンプルな考え方が必要である。</li> <li>・東日本大震災を踏まえ、本市の防災や避難についてのまちづくりが問われている。この分野での検討、将来への対応に重点を置く方が良い。</li> <li>・地域拠点の JR 阿波赤石駅周辺は、海、川、山が近くにあり、災害が起きる可能性が高いと思うが、その周辺には都市機能が集積していることから、「災害に強いまちづくり」は賛成である。</li> </ul>	<p>本市の将来都市構造については、大きく二つの柱により描くこととしております。</p> <p>①「人口減少・少子高齢化社会に対応するための集約・連携型都市構造」</p> <p>都市機能がコンパクトに集約され、各地域が交通ネットワークで連携することにより、高齢者をはじめ多くの人にとっての暮らしやすさの向上と効率的な都市基盤整備を図ります。</p> <p>②「地震・津波などの大規模災害に対応するための災害に強い都市構造」</p> <p>市民の命を守ることを最優先とし、住民避難を軸にハード・ソフトの施策を総合的に組み合わせるとともに、大規模災害発生後の速やかな復旧・復興に向けた事前の防災・減災対策を推進します。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 4～10、本編 p 31～40)</p>

### 【意見項目③】土地利用の方針

意見の概要	市の考え方・対応
<p><b>【空き家、空き店舗について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地の商店街はシャッター街と言われるほど衰退している。問題点を掘り起こし、対策を進めてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、土地利用の方針等において、空き家・空き店舗等に関する記述を追加しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 12、本編 p 42～43)</p>
<p><b>【土地利用のゾーンについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーンとゾーンの境界線は、あいまいにしたほうが活気づくと思う。</li> </ul>	<p>土地利用の方針におけるゾーンは、概ねの位置を示しているものと考えております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 11、本編 p 44)</p>
<p><b>【市街化調整区域について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさい広場周辺は、6次産業化の起業等が可能となる土地利用を考えるべきである。</li> <li>・市街化調整区域の都市計画道路周辺に街が形成される土地利用を考えるべきである。</li> <li>・四国横断自動車道のインターチェンジ周辺は市街地として見直す計画をすべきである。</li> </ul>	<p>市街化調整区域の土地利用については、本市の豊かな自然環境の保全を図るとともに、農林漁業との健全な調和を図った上で、都市計画制度（地区計画等）の活用により災害に強い都市づくりのための「郊外型土地利用」を図ることとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 12、本編 p 43)</p>

#### 【意見項目④】都市施設整備の方針

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【都市計画道路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 55 号は津波の浸水が想定されているが、四国横断自動車道のインターチェンジは一ヶ所しかないため、災害時に緊急車両が乗り入れ可能な進入路を設けるべきである。</li> <li>・田野川沿いの都市計画道路を恩山寺自然公園下まで延長し、災害時の避難道路として市民の安全を図るべきである。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、道路の整備方針において、災害に強い道路ネットワークの整備に関する記述を修正しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 14、本編 p 45～46)</p>
<p>【下水道の整備方針について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理は下水道ではなく、合併処理浄化槽の方が費用的に安価である。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、下水道の整備方針において、汚水処理構想の見直しに関する記述を追加しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 15、本編 p 50)</p>
<p>【その他の道路等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のことも良いが、道路に穴ができるなど今起こっている事を速やかに対応してほしい。</li> </ul>	<p>都市施設整備の方針において、都市計画に定める道路、公園、下水道などの都市施設について計画的かつ効率的に整備するとともに、適切な維持管理に取り組むこととしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 13、本編 p 45)</p>
<p>【公園・緑地の整備方針について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市は海や川、緑地に恵まれていることから、公園整備に投資するよりも、他にすべきことがあると思う。</li> <li>・田野川兩岸を利用した桜並木公園を造成し、市民の憩いの場としてはどうか。</li> <li>・小松島ステーションパークやしおかぜ公園は、平日の利用が少ないように思う。</li> </ul>	<p>公園・緑地の整備方針において、誰もが安全に利用しやすい施設として、バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用した計画的な整備を進め、市民生活に憩いとやすらぎを与える快適な生活空間の形成を図るとともに、災害時の避難場所や復旧復興活動の拠点となるオープンスペースの確保を図ることとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 15、本編 p 48)</p>
<p>【火葬場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬場は整備されると言われてきたが、そのままである。</li> </ul>	<p>その他の都市施設の整備方針において、新しい火葬場の整備を推進することとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 16、本編 p 52)</p>
<p>【新中学校について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新中学校は津波が来ない場所に変更してほしい。</li> </ul>	<p>その他の都市施設の整備方針において、小松島市学校再編計画に基づき、適切な規模と位置を選定し、整備を推進することとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 16、本編 p 52)</p>
<p>【市役所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所庁舎の場所は、津波被害が予想されるため、海から遠い高台に早く移転した方が良い。</li> <li>・市街地や郊外の集落との関係も考え、市役所庁舎の早期移転場所を示すべきである。</li> </ul>	<p>市役所庁舎については、そのあり方について、庁内で検討中ではありますが、すぐに結論は出せないものであり、小松島市都市計画マスタープランの中では、市役所庁舎の位置を考慮することは困難であると考えております。</p>

## 【意見項目⑤】都市防災の方針

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水対策として政所谷川を田野川に接続し、市民の安全を確保するとともに、農地冠水を防止し、多様な農作物が作付け可能な優良農地とすべきである。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、都市防災の方針において、河川整備に関する記述を修正しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 18、本編 p 56)</p>
<p>【津波対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波対策として、小学校の校舎、体育館、運動場下にシェルターを建設してほしい。</li> </ul>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画の基本的な方針を定めるものとなっておりますので、具体的な施策等につきましては、各々の計画において定めることとなっております。</p>

## 【意見項目⑥】地域別構想

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【地域別構想全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの方針は、何がどうなのか理解できない。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、地域別構想において、まちづくりの方針を分野別の方針ごとに構成するよう修正しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 20～23、本編 p 67～71、77～80、86～90、96～99)</p>
<p>【小松島・南小松島・北小松島・千代地域について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地のまちづくりの内容が軽薄であるように思う。</li> <li>・ミリカホールを中心とした文化芸術活動の活性化により、都市型のコミュニティ創出につながると考える。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、小松島・南小松島・北小松島・千代地域において、まちづくりの方針に関する記述を修正しております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 20、本編 p 67～71)</p>
<p>【児安・芝田地域について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小松島佐那河内線は、小学生が登下校しているが、道幅が狭く、ダンプがよく通り危険である。</li> </ul>	<p>児安・芝田地域では、安全で安心できる交通環境を実現するため、主要地方道小松島佐那河内線の通学路などの危険箇所の改善を図ることとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 21、本編 p 78)</p>
<p>【農業・漁業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、漁業は後継者不足が深刻な問題となっているため、対策が必要である。</li> <li>・和田島や元根井は漁業のまちとしての観点から漁業の振興につながるまちづくりを期待する。</li> </ul>	<p>平野部に広がる優良農地について、ほ場整備や農業水利施設等の整備により農業生産性の向上や農業経営の安定を図り、地域産業の活性化を促進することとしております。</p> <p>また、田園集落や漁業集落などの地域について、農業・漁業生産性の向上に向けた環境整備を進めることとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 21～23、本編 p 77、87、96～97)</p>

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【恩山寺・立江寺について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恩山寺と立江寺は、四国霊場八十八箇所<sup>の</sup>文化遺産登録を見据えた考え方が必要であると思う。</li> </ul>	<p>恩山寺や立江寺の周辺については、その自然景観や歴史的景観を活用した観光・交流のまちづくりを推進することとしております。</p> <p>(対応箇所：概要版 p 21、23、本編 p 79、98)</p>

### 【意見項目⑦】計画推進に向けて、その他

意見の概要	市の考え方・対応
<p>【チェック機能の構築について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、計画がどれだけ実現しているか、目に見える形にしてほしい。</li> <li>・チェックの結果を市民に公表して評価できるようにしてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、計画推進に向けての評価の視点に関する記述を修正しております。</p> <p>なお、評価にあたっては、評価の結果等を公表し、市民が都市計画マスタープランの達成状況をチェックできる体制を整えることとしております。</p> <p>(対応箇所：本編 p 103)</p>
<p>【市民との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家でないので何をどう取り組めば良いか分からない。</li> <li>・市民と行政との意見交換の場を設け、情報の共有が重要である。</li> <li>・関係部局との連携体制の構築が重要である。</li> </ul>	<p>ご意見を踏まえ、資料編に都市計画制度の概要を追加しております。</p> <p>なお、本計画の推進にあたっては、国や徳島県など他の行政機関、市民や民間事業者との連携を推進することとしております。</p> <p>(対応箇所：本編 p 104、152～153)</p>
<p>【教育環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境を充実させ、子供の人口を増やすことが必要である。</li> </ul>	<p>都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を定めるものとなっておりますので、本計画の推進に向けて、教育行政部局と連携してまいりたいと考えております。</p>
<p>【規制緩和について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の復興の障害となっているのは、従来の規制の問題がある。規制緩和について検討すべきである。</li> </ul>	<p>本計画では、土地利用の方針などにおいて、規制緩和についても検討することとしております。</p>